

協会に事務局を置く団体

神奈川県消化器がん検診機関一次検診連絡協議会	
設立年月日	昭和57年2月
代 表	会長：細川 治 (国家公務員共済組合連合会横浜栄共済病院院長)
会 員 数	会員機関11+相談機関2 (令和元年7月現在)
設立の主旨	
県内における老人保健法(昭和57年度～平成19年度)および健康増進法(平成20年度～)に基づく胃がんの住民検診を行う一次検診実施機関の精度管理の向上、行政、医師会をはじめとする関係機関との連携協調、共通の諸問題の研究、技術の向上を目指して討議を行い、胃がん検診の充実、発展を図る	
本年度の主な活動	
1. 協議会の開催 (1)第86回協議会 平成30年7月26日(木) 2. 幹事会の開催 (1)第104回幹事会 平成30年6月22日(金) 3. 研修会 日 時：平成30年12月1日(土) 演題：「今まさに！胃X線検診の精度向上が求められている—施設評価も含めて—」 講師：公益財団法人東京都保健医療公社東京都がん検診センター 副所長 入口陽介先生	
4. 技術部会 (1)第1回 平成30年5月16日(水) (2)第2回 平成30年8月22日(水) (3)第3回 平成30年11月14日(水) (4)第4回 平成31年2月13日(水)	
事務局担当	新保 文樹 (業務部)

神奈川県健康管理機関協議会	
設立年月日	昭和56年
代 表	代表幹事：(公財)神奈川県予防医学協会
会 員 数	15機関 (平成31年3月31日現在)
設立の主旨	
県内において企業等の健康管理支援業務を行う企業外健康管理機関が、より質の高いサービスを提供するため、健康管理全般に関する支援として、精度の向上、適正な事業の運営等、共通の諸問題を協議検討すると共に労働衛生行政へも積極的に協力していくことを目的として設立	
本年度の主な活動	
◆第1回協議会(平成30年9月11日) 1. 神奈川労働局からの連絡事項 2. 講演 テーマ：「健康経営」の推進による企業・組織の活性化 講 師：九州大学名誉教授 尾形裕也先生 3. 情報交換会 ・定年退職者(個人)へのアプローチ及び健診メニュー作り ・インフルエンザ予防接種の実施状況	
◆第2回協議会(平成31年3月25日) 1. 神奈川労働局からの連絡事項 2. 講演 テーマ：『健診(医療)事故における法的対応』 講 師：安西法律事務所 弁護士 荻谷聡史先生 3. 情報交換会 ・風しん(集合契約)及び麻しん抗体検査、ワクチン接種への対応状況	
事務局担当	雨宮 徹 (業務部)

(公社) 日本作業環境測定協会神奈川支部	
設立年月日	昭和56年7月
代 表	支部長：灰塚正隆
会 員 数	27機関 (平成31年3月現在)
設立の主旨	
作業環境測定士の資質向上と測定技術の精度向上、測定機関の業務改善などを目的として設立	
本年度の主な活動	
◆会議 ①総会1回 ②理事会3回 ③技術専門委員会6回 ④機関全体集会1回	
◆第一回技術研修会(平成30年6月20日) 平成30年度の労働衛生行政の動向 (神奈川労働局 安部昭彦氏)	
◆作業環境測定評価推進大会(平成30年9月13日) ①最近の労働衛生行政の動向 (神奈川労働局 塚田啓子氏) ②局所排気装置等の基礎知識・実技を含む (興研 岩崎 毅氏)	
◆第二回技術研修会(平成31年2月15日) ①個人サンプラーを用いた作業環境測定について (中央労働災害防止協会 山室堅治氏) ②労働衛生保護具(インフルエンザ対策を含む)と実習 (神奈川県予防医学協会 芦田敏文氏)	
事務局担当	芦田敏文 (環境科学部専門委員)

神奈川県学校・腎疾患管理研究会	
設立年月日	昭和50年
代 表	会長：新村文男 (東海大学小児科 准教授)
会 員 数	90人 (平成31年4月現在)
設立の主旨	
各地区医師会・自治体・大学医学部・病院・学校・検診機関が相互に連携し腎疾患対策を行い児童・生徒の健康に寄与すべく事業を展開	
本年度の主な活動	
◆学校現場との連携事業 小田原市役所 平成31年2月21日 「学校検尿の流れについて—検査室でおこなっていること—」	
◆神奈川県学校検尿判定委員会合同会議 神奈川県総合医療会館 平成31年1月26日	
◆医師部会 神奈川県総合医療会館 平成30年9月29日 「二次検尿蛋白検査法をP/C比を含む試験紙法への変更について」 竹中道子先生 「やって良かった学校検尿(学校検尿からの症例報告)」 西川暁子先生、町田裕之先生、柳原 剛先生 高橋英彦先生、新村文男先生	
◆定例研究会 グランベル横浜ビル 平成31年1月26日 「熱中症の事例紹介—急性腎不全を合併した熱中症の一例—」 高橋英彦先生 「学校現場での熱中症—病態を理解し対処法を知る—」 三宅康史先生	
◆機関誌「2018年度 腎40号」の発刊(1,750部)	
事務局担当	佐藤光宣 (業務部)

子宮がん車検診実施検討会	
設立年月日	昭和46年
代 表	世話人：上坊敏子先生 (社会保険相模野病院婦人科腫瘍センター長)
会 員 数	構成医療機関等 ○協力医療機関 北里大学・東海大学・横浜市立大学・聖マリアンナ医科大学・日本医科大学の産婦人科 ○神奈川県立がんセンターの婦人科腫瘍専門医 ○協会細胞診専門医
設立の主旨	子宮がん死亡率低下のため県が実施の検診事業に協会が協力。昭和58年老人保健法施行により実施主体が市町村へ移行された。協会は、国・県・市町村および学会・医師会との連携を持ち検査精度の向上・受診率の向上等を目的として検討会を継承し、運営をしている。
本年度の主な活動	◆年1回検診・報告会を開催 平成30年9月26日(水) ◆検診・報告内容 車検診の集積データを検証し、発見症例の再検討などを実施して、精度の維持向上に役立てている。また、実務的な情報交換を行う。
事務局担当	佐藤光宣(業務部)

神奈川県乳がん集団検診協力医療機関連絡会	
設立年月日	昭和60年
代 表	会長：福田 讓(聖マリ大B&Iセンター院長)
会 員 数	○乳がん検診(視触診・読影)協力医療機関 視・触診協力機関 21機関 読影協力機関 12機関 横浜市立大学附属病院・昭和大学藤が丘病院・横浜南共済病院・聖マリアンナ医科大学病院・藤沢市民病院・藤沢湘南台病院・茅ヶ崎市立病院・平塚共済病院・小田原市立病院・山近記念総合病院・秦野赤十字病院・東海大学病院・伊勢原協同病院・平塚市民病院・海老名総合病院・相模台病院・湘南記念病院・東名厚木病院・川崎市立井田病院・横浜市南部病院・北里大学病院・神奈川県立足柄上病院・国立病院機構相模原病院・国際医療福祉大学熱海病院・大和市立病院・相模野病院・プレスティアたまプラーザ・神奈川県立がんセンター・聖マリアンナ医科大学附属研究所B&Iセンター(平成30年7月現在)
設立の主旨	乳がん死亡率低下のため県が実施の検診事業に協会が協力。老人保健法施行により実施主体が市町村へ移行された。協会は、国・県・市町村および学会・医師会との連携を持ち検査精度の向上・受診率の向上等を目的として神奈川県乳がん集団検診協議会を継承し、運営をしている。MMG運営委員会：上記連絡会の下部組織として、マンモグラフィ読影精度管理を目的として設立。
本年度の主な活動	1. 連絡会・MMG運営委員会 合同開催 3月15日 2. 症例検討会 第1回：7月20日 7機関10人 第2回：11月16日 6機関6人 3. 学会発表 第28回日本乳癌検診学会(11/23-24 大阪市) 東名厚木病院 日野浩司先生
事務局担当	山本寛典(業務部)

ピンクリボンかながわ	
設立年月日	平成18年4月
代 表	代表：土井卓子(湘南記念病院乳がんセンター長)
会 員 数	97人(令和元年7月現在)
設立の主旨	乳がんの早期発見・早期治療をめざして、乳がん検診の受診率向上と乳がんについての知識の普及・啓発を目的として設立
本年度の主な活動	◆県内での活動 市町村や企業等のイベントや講習会、研究会へ延べ44団体48日間協力参加。マンモグラフィ検診車の展示やピンクリボンブースで乳房模型を使い、しこりの触診体験や自己触診方法の説明。また、小規模の催しには乳房模型の貸出や自己触診方法が載ったリーフレットの提供による活動支援も行っている。 ◆「ピンクリボンかながわ2018」開催 平成30年9月23日(日・祝) 横浜公園 ピンクリボンイベント。 9月22日(土)～24日(月・祝) ピンクにライトアップを9ヶ所で実施。ピンクリボン運動を広く県民、市民に発信した。 ◆湯河原温泉とのコラボ ピンクリボンかながわのホームページでは、湯河原温泉「女将の会」の協力を得て「ピンクリボンの旅」の掲載を始めた。乳がんを患い、術後の痕が気になり、温泉を躊躇してしまわれている女性に、ゆっくりと温泉に入って頂けるよう、宿やお風呂の貸切のご案内をしている。
事務局担当	野口正枝(検診計画部)

神奈川県乳房画像研究会／神奈川県乳房超音波画像研究会	
設立年月日	平成10年12月／平成18年3月
代 表	世話人代表 加藤善廣(川崎市立多摩病院)
会 員 数	26人(令和1年8月現在)
設立の主旨	乳がんの早期発見・治療の為、画像診断や装置の精度向上に役立つ情報提供や普及活動
本年度の主な活動	◆世話人会 7回開催 当協会7階・役員室にて 平成30年4月23日・6月14日・7月26日 9月21日・12月10日 平成31年2月7日・3月27日 ◆研究会 2回開催 ・第58回画像研究会・35回超音波画像研究会 平成30年5月26日(土) 参加者62人 会場：横浜市開港記念会館 主要講義「遺伝性乳がんについて」 聖路加国際病院 山内英子先生 ・第59回画像研究会・36回超音波画像研究会 平成30年10月27日(土) 参加者59人 会場：横浜市技能文化会館 主要講義「新しい乳腺画像診断 —人工知能(AI)の基礎と医療への応用—」 湘南記念病院乳がんセンター 井上謙一先生 ◆他活動内容 ・横浜市医師会主催 ポジショニング研修会 ・超音波画像研究会主催 ハンズオンセミナー ・神奈川県医師会主催 MMG撮影技術講習会
事務局担当	見本喜久子・関 春花(放射線技術部)

禁煙・受動喫煙防止活動を推進する神奈川会議	
設立年月日	平成11年11月5日
代 表	会長：中沢明紀
会 員 数	個人会員159人、法人会員11法人 (平成31年3月現在)
設立の主旨	
県内の禁煙・受動喫煙防止の普及啓発活動の目的で設立	
本年度の主な活動	
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 6月の総会にて中沢明紀新会長が就任 ◆ 総会・講演会 6月 県総合医療会館 ◆ 常任理事会 2回、理事会 3回 ◆ 会員による講演会、セミナー 140回 対象者15,336人 ◆ かながわ卒煙塾、かながわ卒煙サポートセミナーへの協力 講師派遣7回 ◆ イベントへの参加1回 ◆ 関連会議への協力 神奈川県1回、横浜市4回の会議へ参加 ◆ 国の動向 7月、健康増進法が改正され、国としての受動喫煙防止対策が策定された 	
事務局担当	栗原 博 (当協会理事)

スモークフリー推進かながわ基金	
設立年月日	平成22年
代 表	委員長：笹生正人 (県医師会理事)
会 員 数	委員6人 (委員長含む、令和元年10月現在)
設立の主旨	
受動喫煙防止を浸透させ、自らの意思で受動喫煙を避けることができる環境の整備を促進するため、県民、法人等からの寄付金を原資として設立	
本年度の主な活動	
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 「イベント・シンポジウム開催」事業 (1)受動喫煙防止県民向けイベントへの協力 平成30年11月17日 キーンズスクエア (2)受動喫煙防止キャンペーンへの協力 平成30年5月29日～6月4日 横浜公園 ◆ 「広報普及啓発」事業 (1)ホームページによる情報提供 (2)啓発グッズ作成 ◆ 「未成年者等喫煙防止教育」事業 (1)受動喫煙防止県向けイベントへの協力 (再掲) ◆ 「スモークフリー・サポーターズ・クラブ」事業 (1)スモークフリー・サポーターズ・クラブの運営・管理 	
事務局担当	栗原 博 (当協会理事)

神奈川学校保健研究会	
設立年月日	昭和43年9月
代 表	会長：鈴木晴美
会 員 数	35人 (平成31年3月現在)
設立の主旨	
県内の養護教諭ら、学校保健関係者が自主的に研修する場として設立	
本年度の主な活動	
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 月例会6回 (招待講師による講演) 当協会3階・健康測定室にて 平成30年6月16日、7月28日、10月27日、12月8日 平成31年1月19日、2月16日、3月24日 延べ88人参加 ◆ 第50回夏期講習会 テーマ「ぐんぐん成長するこどもたちのからだ・こころにより添って50年～いのちを生きるこれからも」 横浜港運健保組合 大会議室にて 平成30年8月2日・3日の2日間、4講師による講演。 延べ163人参加 	
事務局担当	船崎隆文 (健康創造室企画課)